

令和6年度 入学者選抜要項

- 【医学科】 一般選抜
- 【医学科】 総合型選抜（国際医療人特別選抜）
- 【医学科】 総合型選抜（北海道特別選抜）
- 【医学科】 学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）

- 【看護学科】 一般選抜
- 【看護学科】 学校推薦型選抜

- 【医学科】 私費外国人留学生選抜
- 【看護学科】 私費外国人留学生選抜

※新型コロナウイルスの感染状況等により、本学の入試日程、実施方法及び選抜方法が変更となる可能性があります。変更があり次第、本学WEBサイトにて告知いたします。



旭川医科大学医学部

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

医師・看護職者としての適性とともに関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

【旭川医科大学の求める学生像】

I 医師・看護職者としての適性

- 全ての生命の尊厳を重んじる学生
- 社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することができる学生
- 他者を尊重し、他者を思いやる心を持つ学生
- 多様な人々と良好な関係を築くことができる学生
- 幅広い教養を身につける努力をしている学生
- 最新の知識や技術を身につけるため、学び続ける学生
- チーム医療を実践するための素養を備えた学生

II 地域社会・国際社会への関心

- 自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
- 自らが所属する地域共同体のみならず、国際的視野を持ち、社会全体に貢献する志を有する学生

III 自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力

- 直面する問題に対し、広く世界を俯瞰し、自らが持つ知識・技能を論理的に応用することで、的確に課題を発見し、解決しようとする行動力を持つ学生

【入学者に求める資質等】

（関心・意欲、態度）

将来医師・看護職者として社会に貢献する高い志を持ち、他者に配慮し、自らを律して行動できる人

（知識・技能）

医学又は看護学を学ぶために必要な基礎学力を有し、課題発見能力・応用力を備えた人

（思考力・判断力・表現力）

課題を発見し解決するための基礎となる論理的な思考力・判断力を備え、高度なコミュニケーション能力の基礎となる教養と口頭・文章表現力を持つ人

（主体性・多様性・協働性）

高等学校等での総合学習や課外活動などを通じて周囲の人と良好な関係を築くことができる協調性を備え、多様な人々と協働するための自己分析能力や、主体的な活動の経験を有する人

高等学校等までの各教科において、以下の能力を身につけていることを望みます。

（国語）

良好な人間関係を形成するために、日本語の内容を正確に理解し、自らの考えを適切に表現するとともに他者の考えを正しく理解できること

（地理歴史・公民）

一般社会において主体的に生きるために、良識ある公民として行動できること

（数学）

基礎的知識の理解と習得に加え、身の回りの事象を数学的に考察できるとともに、数学的論拠に基づいて判断できること

（理科）

身の回りの事象を自らの知識に基づいて科学的に判断するために、広く自然科学全般について深く洞察できること

（英語）

将来国際レベルで学術情報の収集・発信を行うことができるよう、英語の内容を正確に理解し、身近な話題や興味関心のあるテーマについて自らの考えを適切に表現できること

【入学者選抜の基本方針】

各選抜区分における選抜方法及び主要評価項目は以下のとおりです。

選抜区分	選抜方法	主要評価項目					
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	関心・意欲・態度	主体性・多様性・協働性		
医学科	一般選抜 (前期日程、後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		個別学力検査	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	総合型選抜 (国際医療人特別選抜)	大学入学共通テスト	○	○		学力等とともに、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させるために、高い向上心と志を生涯に亘って持ち続け、本学の医学・医療活動の発展に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。	
		課題論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	総合型選抜 (北海道特別選抜)	大学入学共通テスト	○	○		学力等とともに、医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。	
		課題論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	学校推薦型選抜 (道北・道東特別選抜)	大学入学共通テスト	○	○		学力等とともに、北海道の上川中部を除く道北、道東並びに北空知及び中空知地域における医療に貢献する強い意欲がある者を選抜する。	
		課題論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	私費外国人留学生選抜	個別学力検査	○	○		出身学校が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績を総合的に評価する。	
		面接試験			○		○
	第2年次編入学	個別学力検査	○	○		大学等での学修及び社会経験により身につけた資質等を評価する。学力等とともに、「国際医療人枠」では、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させるために、高い向上心と志を生涯に亘って持ち続け、本学の医学・医療活動の発展に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。「地域枠」では、北海道の地域医療を理解し、北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜する。	
面接試験				○	○		
看護学科	一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		小論文試験	○	○			
		面接試験及び調査書等			○		○
	一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を備えた者を重視して選抜する。	
		面接試験及び調査書等			○		○
	学校推薦型選抜	面接試験及び調査書等	○	○	○	○	能力及び適性等を総合的に評価するとともに、看護学に関する学修意欲が特に強く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者を選抜する。
	私費外国人留学生選抜	個別学力検査	○	○		出身学校が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績を総合的に評価する。	
		面接試験			○		○

本学のアドミッション・ポリシーは、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に基づいて定めております。本学の教育目標・教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、本学WEBサイトを参照してください。

目次

1	入学定員・入試区分・募集人員・入試日程	1
2	一般選抜(医学科)	2
3	総合型選抜国際医療人特別選抜(医学科)	4
4	総合型選抜北海道特別選抜(医学科)	6
5	学校推薦型選抜道北・道東特別選抜(医学科)	8
6	一般選抜(看護学科)	10
7	学校推薦型選抜(看護学科)	12
8	私費外国人留学生選抜(医学科)	13
9	私費外国人留学生選抜(看護学科)	14
10	参考	15

1 入学定員・入試区分・募集人員・入試日程

1. 入学定員・入試区分・募集人員

(名)

学 科	入学定員	募 集 人 員						
		一 般 選 抜		綜 合 型 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜		私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜
		前 期 日 程	後 期 日 程	国 際 医 療 人 特 別 選 抜	北 海 道 特 別 選 抜	道 北 ・ 道 東 特 別 選 抜		
医 学 科	95	40	8	5	32	10	—	若 干 名
看 護 学 科	60	40	10	—	—	—	10	若 干 名
合 計	155	80	18	5	32	10	10	若 干 名

【注意事項】

- 一般選抜は、入学定員を分割し前期日程及び後期日程の両試験日程でそれぞれ入学者を募集する分離分割方式で実施します。
- 総合型選抜、学校推薦型選抜において合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の前期日程の募集人員に加えます。
- 私費外国人留学生選抜の募集人員は前期日程に含まれます。

2. 入試日程

	入 試 区 分	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日 時
医 学 科	一般選抜（前期日程）	令和6年 1月22日(月) ～ 令和6年 2月 2日(金)	令和6年 2月25日(日) 26日(月)	令和6年 3月 7日(木)17:00
	一般選抜（後期日程）	令和6年 1月22日(月) ～ 令和6年 2月 2日(金)	令和6年 3月12日(火)	令和6年 3月22日(金)17:00
	私費外国人留学生選抜	令和6年 1月15日(月) ～ 令和6年 1月19日(金)	令和6年 2月25日(日)	令和6年 3月 7日(木)17:00
	総合型選抜 （国際医療人特別選抜）	令和5年 9月28日(木) ～ 令和5年10月 4日(水)	令和5年11月25日(土)	令和6年 2月 8日(木)17:00
	総合型選抜 （北海道特別選抜）	令和5年 9月28日(木) ～ 令和5年10月 4日(水)	令和5年10月28日(土)	令和6年 2月 8日(木)17:00
	学校推薦型選抜 （道北・道東特別選抜）	令和5年11月 1日(水) ～ 令和5年11月 6日(月)	令和5年11月25日(土)	令和6年 2月 8日(木)17:00
看 護 学 科	一般選抜（前期日程）	令和6年 1月22日(月) ～ 令和6年 2月 2日(金)	令和6年 2月25日(日)	令和6年 3月 7日(木)17:00
	一般選抜（後期日程）	令和6年 1月22日(月) ～ 令和6年 2月 2日(金)	令和6年 3月12日(火)	令和6年 3月22日(金)17:00
	私費外国人留学生選抜	令和6年 1月15日(月) ～ 令和6年 1月19日(金)	令和6年 2月25日(日)	令和6年 3月 7日(木)17:00
	学校推薦型選抜	令和5年11月 1日(水) ～ 令和5年11月 6日(月)	令和5年11月25日(土)	令和5年12月14日(木)10:00

2 一般選抜（医学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和6年度大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（次のア～カの一に該当する者）

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

※ 出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目等の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。
- (5) 令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和6年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績、自己評価書及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和6年度大学入学共通テストの成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ5倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般選抜受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般選抜受験票を送付します。

※ 第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入学共通テストの配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※ 合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数 学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
英 語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
個人面接	採点評価基準	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

※ 数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					個別学力検査等			合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	数学	英語	個人面接	
100	50	100	200	100	150	150	50	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
英 語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
個人面接	採点評価基準	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					個別学力検査等		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	英語	個人面接	
150	50	150	150	100	200	50	850

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

3 総合型選抜（国際医療人特別選抜）（医学科）

1. 趣旨

旭川医科大学は、地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献するとともに、医学・医療活動を通じて国際社会の発展に寄与する医療者を育てることを教育の理念・目標に掲げています。国際医療人枠は、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させることに貢献し、その中核を担う医師の育成を目指します。卒業後は、単に外国で医師としての経験を積み上げるということではなく、地域で医療に従事しても、その視線は常に世界を見据え、高い向上心と志を生涯に亘って持ち続け、リーダーシップを発揮しながら本学の医学・医療活動の発展に貢献する人材になることを期待しています。

具体的には下記の能力を身につけた医師の育成を目指します。

1. 世界水準の医療を実践するために、国際的視野にたつて、絶えず最新・最良の知識や技術を修得しつつ、臨床医として患者を診療・ケアできる。
2. 最先端の医療や医学研究を国際的にリードするために、現状の医療・医学の問題点を抽出し、これを研究解決し、その成果を国際的に発信していく。
3. 地域の医療問題を抽出し、その解決に先導的役割を果たすとともに、その手法を国際的な医療問題の解決に応用する。

2. 出願資格及び要件

高等学校又は中等教育学校を令和4年4月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者（令和6年3月までに卒業見込みの者を含む。）^{*1}で、令和6年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させるために、高い向上心と志を生涯に渡って持ち続け、本学の医学・医療活動発展に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.3以上^{*2}の者で、高等学校等の学級担任教諭又は進路指導教諭等が本選抜の制度について説明し、意欲及び意思を確認できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「国際医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書」を提出できる者

^{*1} 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

^{*2} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目等の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみを利用します。
- (5) 令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、すべての志願者を対象に、調査書及び自己推薦書の内容により第1次選考を行います。第1次選考合格者
にのみ第2次選考として課題論文試験及び面接試験を実施し、第1次選考結果と併せて志願者の能力、本学の医学・医療活動
発展に貢献する強い意欲及び適性等と令和6年度大学入学共通テストの成績を総合的に審査し判定します。

なお、大学入学共通テストの合計点（1200満点）が「当該選抜試験受験者の合計点順における下位20%を除外した平均点
以上」であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

第1次選考の結果は、令和5年10月30日(月)に合格者には受験票を、不合格者には不合格通知書を送付します。受験票もし
くは不合格通知書が、試験日の5日前までに到着しない場合は、至急本学入試課まで電話連絡してください。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
個人面接	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。 特に、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させるために、高い向上心と志を生 涯に亘って持ち続け、本学の医学・医療活動の発展に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。

●大学入学共通テスト及び本学試験科目の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					本学試験科目		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	課題論文	個人面接	
200	100	300	300	300	300	600	2100

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、本学の試験科目の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この総合型選抜に不合格となった場合に備えて、一般選抜に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認められません。ただし、本学の総合型選抜（北
海道特別選抜）との併願は可能です。なお、本学の学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）との併願は認められませ
ん。
- (3) 本学の総合型選抜（北海道特別選抜）と併願している場合は、総合型選抜（国際医療人特別選抜）での選抜を優先
し、その後、総合型選抜（北海道特別選抜）の選抜を行います。

4 総合型選抜（北海道特別選抜）（医学科）

1. 趣旨

北海道には医師が不足している地域が多く存在し、本学卒業生が道内に残って活躍することが道民から強く求められています。そこで、北海道の地域医療に関心を持ち、医師としての適性ととともに、より本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿った北海道出身の学生に入学してもらいたいと願っています。

そのため、北海道の地域医療を理解し、将来北海道の医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することとし、意欲、能力、適性、将来性等の視点から総合型選抜（北海道特別選抜）を実施します。

2. 出願資格及び要件

北海道に所在する高等学校^{*1}又は中等教育学校を令和4年4月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者（令和6年3月までに卒業見込みの者を含む。）で、令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 本学への志望動機が明確で、将来医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていることを自己アピールできる者
- (3) 高等学校等における調査書の全体の評定平均値が4.0以上^{*2}の者で、高等学校等の学級担任教諭又は進路指導教諭等が本選抜の制度について説明し、意欲及び意思を確認できるもの
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書」を提出できる者

^{*1} 広域通信制高等学校を卒業又は卒業見込みの者については、高等学校の本部の所在地に関わらず、在学期間中、北海道に居住し、かつ北海道でスクーリングを受けていることを条件とする。

^{*2} 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目等の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみを利用します。
- (5) 令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

3. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、自己推薦書、調査書、課題論文及び個人面接によって受験者の能力、北海道における医療に貢献する強い意欲及び適性等と令和6年度大学入学共通テストの成績を総合的に審査し判定します。

なお、大学入学共通テストの合計点（1200満点）が「当該選抜試験の受験者の中央値以上」であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
個人面接	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。 特に、将来、医学の分野で北海道の医療及び社会に貢献する強い意欲を持っている者を選抜する。

●大学入学共通テスト及び本学試験科目の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					本学試験科目		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	課題論文	個人面接	
200	100	300	300	300	200	200	1600

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、本学の試験科目の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この総合型選抜に不合格となった場合に備えて、一般選抜に出願することができます。
- (2) 他の国公立大学・学部 of 総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認められません。ただし、本学の総合型選抜（国際医療人特別選抜）又は学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）との併願は可能です。
- (3) 本学の総合型選抜（国際医療人特別選抜）又は学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）と併願している場合は、総合型選抜（国際医療人特別選抜）又は学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）での選抜を優先し、その後、総合型選抜（北海道特別選抜）の選抜を行います。

5 学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）（医学科）

1. 趣旨

本学は、道北・道東地域における高度先端医療の提供と医療過疎の解消を期待し、設置された医療系単科大学です。この趣旨を踏まえて、本学の教育の理念で「地域医療に根ざした医療・福祉の向上に貢献する医療者を育てる。」ことを掲げ、地域医療に根ざした医療人を育成することを使命としています。北海道は札幌・旭川市周辺に医師が集中し、道北・道東地域では医療過疎が進む医師の偏在が社会的な問題となっています。この入試では、道北・道東等の出身者で、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲のある者を選抜することを目的としております。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を令和4年4月以降に卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者（令和6年3月までに卒業見込みの者を含む。）*1で、令和6年度大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験し、かつ、次の要件を満たすもの

- (1) 生まれ育った地域*2が、北海道の上川中部を除く*3道北、道東*4並びに北空知及び中空知*5（以下「当該地域」という。）に該当し、将来、当該地域における医療に貢献する強い意欲がある者
- (2) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.3以上*6の者で、人物・学力ともに優秀かつ健康であり、学校長が責任を持って推薦できるもの
- (3) 高等学校等の学級担任教諭又は進路指導教諭等が本選抜の制度について説明し、意欲及び意思を確認できる者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
- (5) 出願時に「地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書」を提出できる者

*1 文部科学大臣が認定した在外教育施設を修了又は修了見込みの者を含む。

*2 生まれ育った地域とは、志願者が小学校、中学校又は高等学校等のいずれかにおいて教育を受けた経験のある地域で、かつ、父母等（特別な事情がある場合は、祖父母等の保護者）が令和5年11月1日現在で継続して3年以上居住している地域をいう。

*3 上川中部とは、旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、鷹栖町、比布町、愛別町、当麻町及び上川町をいい、二次医療圏として上川中部全体では、人口10万人当たりの医師数が全道平均を上回っているため、除外する。

*4 道北、道東とは、宗谷、上川、オホーツク、釧路及び十勝の各総合振興局並びに留萌及び根室の各振興局をいう。

*5 中空知とは、芦別市、赤平市、滝川市、砂川市、歌志内市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町及び雨竜町の各市町をいう。

*6 「評定平均値」は、高等学校等を卒業見込み又は修了見込みの者は第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）まで、卒業又は修了した者は第3学年修了時までのものとする。

【令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】

受験を要する教科・科目		科目等の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「倫理、政治・経済」	左記科目から1科目を選択	1
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理」「化学」「生物」	左記科目から2科目を選択	2
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。このうち1科目でも受験しない者は、合格候補者から除外されます。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。
- (4) 外国語の「英語」を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディングのみを利用します。
- (5) 令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

3. 推薦人員

本人の強い意欲に基づく学校長推薦とし、学校長が推薦できる人数に制限はありません。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、調査書、志望理由書、課題論文及び個人面接によって受験者の能力、当該地域における医療に貢献する強い意欲及び適性等と令和6年度大学入学共通テストの成績を総合的に審査し判定します。

なお、大学入学共通テストの合計点（900満点）が「当該選抜試験の受験者の中央値以上」であった者を選抜の対象とします。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
課題論文	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
個人面接	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。特に、将来、北海道の上川中部を除く道北、道東並びに北空知及び中空知地域における医療に貢献する強い意欲がある者を選抜する。

●大学入学共通テスト及び本学試験科目の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					本学試験科目		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	課題論文	個人面接	
200	100	200	200	200	300	300	1500

●課題論文のテーマ

最近の医学、医療、福祉及び社会一般の事象に関する内容とします。

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、本学の試験科目の得点の高い順とします。

●併願等について

- (1) この学校推薦型選抜に不合格となった場合に備えて、一般選抜に出願することができます。
- (2) 国公立大学・学部への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限られています。
- (3) 他の国公立大学・学部の総合型選抜との併願は認められません。ただし、本学の総合型選抜（北海道特別選抜）との併願は可能です。
- (4) 本学の総合型選抜（北海道特別選抜）と併願している場合は、学校推薦型選抜（道北・道東特別選抜）での選抜を優先し、その後、総合型選抜（北海道特別選抜）の選抜を行います。

6 一般選抜（看護学科）

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「大学入学共通テスト」という。）のうち、本学が指定した教科・科目を全て受験したもの

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定（ただし、第6号を除く。）により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次のア～カの一に該当する者）

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの

※ 出願資格(3)の力により出願する場合は、事前審査が必要となるので、出願期間の3ヶ月前までに本学入試課にお問合せください。

【令和6年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目】（前期日程・後期日程）

受験を要する教科・科目		科目等の選択方法・科目数	
国語	「国語」	必須	1
地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」	左記科目から1科目を選択	1
	「地理A」「地理B」		
	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」		
数学	「数学Ⅰ・数学A」	必須	2
	「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	左記科目から1科目を選択	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」	左記科目から2科目を選択 【注意事項】(4)	2
	「物理」「化学」「生物」		
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	左記科目から1科目を選択	1

【注意事項】

- (1) 受験を要する教科・科目数は5教科7科目です。本学が指定した教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査等を受験することはできません。
- (2) 地理歴史・公民から2科目を受験している場合は、第1解答科目の成績を採用しますので、第1解答科目受験の際は、必ず本学が指定した科目の中から選択してください。
なお、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- (3) 数学の科目のうち「簿記・会計」又は「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込み）者に限ります。
- (4) 理科について、「基礎を付した」科目（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」）の中から2科目の選択としますが、「基礎を付していない」科目（「物理」、「化学」、「生物」）の中から選択した場合は、「基礎を付した」科目とみなして利用します。また、「基礎を付した」2科目と「基礎を付していない」科目を受験した場合は、「基礎を付した」2科目の成績を用います。
- (5) 外国語の「英語」を受験する者は、リーディング及びリスニングの両方を受験してください。リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計200点を素点として利用します。リーディング又はリスニングのどちらかを受験しなかった場合は、「英語」を受験した者となりません。ただし、重度難聴者等で大学入試センターからリスニングを免除された者は、リーディング（あるいは筆記試験）のみを利用します。
- (6) 令和5年度以前の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績を利用することはできません。

2. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程、後期日程）で実施し、令和6年度大学入学共通テストの成績、本学が実施する個別学力検査等の成績、自己評価書及び調査書の内容を総合的に審査し、判定します。

なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

〔2段階選抜〕

入学志願者数が前期・後期日程募集人員のそれぞれ5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施するため、令和6年度大学入学共通テストの成績により、前期・後期日程募集人員のそれぞれ5倍程度を合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜を実施した場合は、その合格者に対して個別学力検査等を行います。

(1) 第1段階選抜を実施した場合の選抜結果は、第1段階選抜結果発表日に合格者の大学入学共通テストの試験場コード及び受験番号を、本学WEBサイトに掲載します。

また、合格者には本学の一般選抜受験票を送付し、不合格者には不合格となったことを通知します。

(2) 第1段階選抜を実施しない場合は、第1段階選抜結果発表日に実施しない旨を本学WEBサイトに掲載し、入学志願者全員に本学の一般選抜受験票を送付します。

※ 第1段階選抜結果発表日は募集要項でお知らせします。

●第1段階選抜時の大学入学共通テストの配点

国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	合計点
200	100	200	200	200	900

※ 合格者の最下位に同点者が複数いる場合は、同点者全員を合格とします。

〔前期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
小論文	採点評価基準	課題発見能力、論理的思考力、判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる。
集団面接	採点評価基準	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					個別学力検査等		合計点
国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	集団面接	
100	100	100	100	100	300	100	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

〔後期日程〕

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
集団面接	採点評価基準	課題発見能力、論理的コミュニケーション能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。
個人面接	採点評価基準	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。

●大学入学共通テスト及び個別学力検査等の配点（本学の定める基準）

大学入学共通テスト					個別学力検査等	合計点
国語	地歴公民	数学	理科	外国語	面接	
100	100	100	100	100	300	800

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、個別学力検査等の得点の高い順とします。

7 学校推薦型選抜（看護学科）

1. 趣旨

本学では、他者を思いやる心を持ち、看護学に対する学修意欲が特に高い学生を教育し、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わる看護職者に育成したいと考えています。

そのためこの選抜では、現在、高等学校等で学んでいる生徒の中から、学校長が上記の趣旨に沿っていると責任を持って推薦する者の中から選抜を行います。

2. 出願資格及び推薦要件

高等学校又は中等教育学校を令和6年3月卒業見込みの者で、次の要件を満たす者

- (1) 高等学校又は中等教育学校における調査書の全体の評定平均値が4.0以上*1の者で、人物・学力ともに優秀でかつ健康であるもの
- (2) 本学のアドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）に沿っていると学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 看護学に対する学修意欲が特に高く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者
- (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者

*1 「評定平均値」は、第3学年1学期（二期制の場合は第3学年前期）までのものとする。

3. 推薦人員

高等学校長又は中等教育学校長が推薦できる人数は、1校につき2名以内とします。

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学校長の推薦書、調査書、志望理由書及び面接試験によって受験者の能力及び適性等を総合的に審査し、判定します。

また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●本学の試験科目及び評価項目

試験科目	評価項目
集団面接	論理的コミュニケーション能力、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。
個人面接	論理的コミュニケーション能力、意欲、課題発見能力、協働性、知識・技能、応用力等を問う。特に、看護学に関する学修意欲が特に強く、将来は看護の専門分野における実務・指導に携わることを決意している者を選抜する。

●配点

集団面接	個人面接	合計点
600	300	900

●同点者の順位決定基準

同点者の順位は、集団面接の評価点の高い順とします。

●併願等について

国公立大学・学部への学校推薦型選抜の出願は、1つの大学・学部等に限られています。

8 私費外国人留学生選抜（医学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとします。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者とします。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む。）した者については、私費外国人留学生選抜ではなく、一般選抜（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを指します。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）、理科（1科目ごとの成績）、数学のそれぞれの得点率が80%以上であること。

なお、「2023年度日本留学試験」が中止となった国・地域の志願者は、「2022年度日本留学試験」の成績を利用することができます。

●2023年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理 科	物理、化学、生物から2科目選択
数 学	コース2

※ 出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年度日本留学試験」（中止の場合は「2022年度日本留学試験」）の成績並びに本学が行う学力検査（数学、外国語）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。ただし、個別学力検査等の科目別成績が一般選抜受験者の平均点を下回っている場合は、合格候補者から除外されます。
また、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	出題範囲・採点評価基準	
数 学	出題範囲	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
英 語	出題範囲	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅱ
個人面接	採点評価基準	態度、自分の考え、人間・社会・医療に関する関心・問題意識、自己評価能力等を問う。

※ 数学Bは「数列、ベクトル」を出題範囲とします。

●配点

数学	英語	個人面接	合計点
150	150	50	350

9 私費外国人留学生選抜（看護学科）

1. 出願資格

本学に入学を志願することができる者は、日本国籍を有しない者、かつ、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者、又は本学入学に際し在留資格を「留学」に変更できる者で、次の基礎資格及び出願要件を満たしているものとして。

なお、日本国の永住許可を得ている者は出願できません。

●基礎資格

次の①又は②のいずれかに該当する者として。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格又はグレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格のいずれかを取得した者

【注意事項】

- (1) 日本の国籍を有しない者で日本の高等学校又は中等教育学校における後期教育課程を履修し、かつ、卒業（見込みを含む。）した者については、私費外国人留学生選抜ではなく、一般選抜（前期・後期）に出願してください。
- (2) 上記①の「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者」とは、外国において、最終学年を含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを指します。

●出願要件

独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年度日本留学試験（第1回又は第2回）」の、本学が指定する科目を受験（下表参照）し、日本語（聴解・聴読解、読解の合計）、日本語（記述）のそれぞれの得点率が80%以上、かつ、理科2科目と数学の得点が、それぞれの科目の平均点以上であること。

なお、「2023年度日本留学試験」が中止となった国・地域の志願者は、「2022年度日本留学試験」の成績を利用することができます。

●2023年度日本留学試験の受験を要する科目等

日本語	
理 科	物理、化学、生物から2科目選択
数 学	コース1又はコース2

※ 出題言語を選択できる科目は、「日本語」を選択すること。

2. 入学者選抜方法

- (1) 大学入学共通テストを免除し、次の方法によって入学者の選抜を行います。
- (2) 出身学校（日本の高等学校又は中等教育学校に相当する学校）が発行する成績証明書の内容、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年度日本留学試験」（中止の場合は「2022年度日本留学試験」）の成績並びに本学が行う学力検査（小論文）及び面接（基礎学力の試問を含む。）の結果を総合的に審査し、選抜を行います。
なお、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。

●個別学力検査等の出題教科・科目等

教科等	採点評価基準	
小論文	採点評価基準	問題抽出力、論理的思考・判断力、文章表現力、知識・技能、応用力等をみる
個人面接	採点評価基準	態度、自分の考え、人間・社会・医療に関する関心・問題意識、自己評価能力等を問う。

●配点

小論文	個人面接	合計点
300	100	400

10 参考

1. 受験に際し、特別な配慮を希望する方へ

疾病・負傷や身体障がいのために、解答方法、試験室、座席及び所持品等について、特別な配慮を希望する方は、出願期間開始日の2週間前までに、配慮申請書（様式指定）に、医師の診断書等を添付して本学入試課にご提出をお願いいたします（申請書類等は本学ホームページ（※URL <https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/>）に掲載しています）。

申請内容を確認のうえ、試験の公平性を確保できる範囲で配慮可能な方法を検討します。内容によっては、受験上の配慮が十分に提供できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、入学後の学習や学生生活などについては通年で相談に応じています。

※申請期限後、怪我等により急遽特別な配慮を要する事由が生じた場合は、直ちに本学入試課まで申し出てください。

特別な配慮の対象となる障がい等の程度

区分	障がい等の程度
視覚障がい	・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者又は視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者
聴覚障がい	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者
病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発達障がい	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
その他	・上記以外で特別な配慮を必要とする者

※日常生活において、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や特別な配慮との関係から必ず事前に申請してください。

2. 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報は「独立行政法人の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「旭川医科大学個人情報管理規程」に基づき、次のとおり、個人情報の保護に万全を期しています。

また、入学試験にかかる出願書類等及び入学に必要な関係書類が、志願者から提出された時点で、以下の内容について志願者本人から同意を得たものとみなします。

- (1) 入学志願者から得られた出願書類等に記載されている個人情報については、本学の入学者選抜、入学後の学籍管理等諸業務、入学者選抜方法にかかる調査・研究及びこれらに関連する業務を行うために利用します。
- (2) (1)の個人情報のうち入学手続を完了した者の情報を、本学学生会及び同窓会等からの連絡に使用します。また、医学科総合型選抜及び学校推薦型選抜で提出された「卒後臨床研修確約・確認書」については、本学が、卒業後の動向を確認する為に利用することがあります。
- (3) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、各入試区分での合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に伝達されます。

3. 入試過去問題の活用

- (1) 本学は、アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）を実現するため、必要な範囲において、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。
- (2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。
<https://www.nyushikakomon.jp>

4. 一般選抜合格者の最高・最低・平均点

●令和5年度 入学者選抜

学 科	区 分		配 点	最 高 点	最 低 点	平 均 点
医 学 科	前期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	550	490.0 (89.1%)	404.5 (73.5%)	435.8 (79.2%)
		個 別 学 力 検 査 等	350	262.7	182.3	216.3
		合 計	900	752.7	626.8	652.2
	後期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	600	527.1 (87.9%)	493.0 (82.2%)	509.0 (84.8%)
		個 別 学 力 検 査 等	250	213.3	163.0	182.5
		合 計	850	706.3	679.6	691.4
看 護 学 科	前期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	500	341.5 (68.3%)	247.0 (49.4%)	304.3 (60.9%)
		個 別 学 力 検 査 等	400	350.3	270.3	313.4
		合 計	900	666.3	589.2	617.7
	後期日程	大 学 入 学 共 通 テ ス ト	500	342.5 (68.5%)	297.5 (59.5%)	317.0 (63.4%)
		個 別 学 力 検 査 等	300	267.5	202.1	241.0
		合 計	800	586.7	533.3	558.0

※ ()内は得点率

※ 小数点以下第2位を四捨五入

5. 学生募集要項の発表時期及び請求方法

●学生募集要項の発表時期

入 試 区 分	発表時期 (予定)	備 考
学生募集要項 (特別選抜) ・総合型選抜国際医療人特別選抜 (医学科) ・総合型選抜北海道特別選抜 (医学科) ・学校推薦型選抜道北・道東特別選抜 (医学科) ・学校推薦型選抜 (看護学科)	8月中旬～ 9月上旬	
学生募集要項 (一般選抜)	10月下旬～11月上旬	
学生募集要項 (私費外国人留学生選抜)	10月下旬～11月上旬	募集要項は、本学WEBサイトに掲載します。 出願する場合は、募集要項の記載に従って、 出願書類を別途請求してください。

●請求方法は、本学WEBサイトの「入学案内」「資料請求方法」に掲載しています。

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/request/>



令和6年度旭川医科大学総合型選抜国際医療人特別選抜 国際医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させることに貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学の医学・医療活動の発展に貢献する。

令和 年 月 日

志願者 住所

氏名（自筆） ⑩

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は、志願者 が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、旭川医科大学の医学・医療活動を国際レベルに発展させることに貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学の医学・医療活動発展に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等 住所

氏名（自筆） ⑩

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 初期臨床研修は旭川医科大学病院卒後臨床研修プログラムを受けるものとします。
- (3) 医学・医療従事期間中に、国内外の医療施設（大学、研究所を含む）に出向・派遣、留学または大学院への進学等を希望する場合、学長の了承するものについては、所属長の責任の下、医学・医療従事期間に含めることができるものとします。
- (4) 医学・医療従事期間中は、毎年5月に勤務先について学長へ報告するものとします。

令和6年度旭川医科大学総合型選抜北海道特別選抜地域医療への貢献及び卒業後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者 住所

氏名（自筆） 印

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は、志願者 が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う北海道の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等 住所

氏名（自筆） 印

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 初期臨床研修は旭川医科大学病院卒業後臨床研修プログラムを受けるものとします。
- (3) 医学・医療従事期間中に、国内外の医療施設（大学、研究所を含む）に出向・派遣、留学または大学院への進学等を希望する場合、学長の了承するものについては、所属長の責任の下、医学・医療従事期間に含めることができるものとします。
- (4) 医学・医療従事期間中は、毎年5月に勤務先について学長へ報告するものとします。

令和6年度旭川医科大学学校推薦型選抜道北・道東特別選抜 地域医療への貢献及び卒後臨床研修確約・確認書

旭川医科大学長 殿

私は旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約します。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

志願者 住所 _____

氏名（自筆） _____ (印)

生年月日 平成 年 月 日生

旭川医科大学長 殿

私は、志願者 _____ が旭川医科大学に対し以下のことをすべて確約したことを確認しました。

旭川医科大学に入学したのちは、地域医療に貢献する強い意欲を持ち続け、学業等に励み、卒業後の初期臨床研修（2年）は旭川医科大学が指定する病院（原則として旭川医科大学病院）で受け、その後は旭川医科大学医学部の各講座等または旭川医科大学病院の各診療科に所属し、7年以上、旭川医科大学及びその関連施設で医学・医療に従事し、旭川医科大学が行う道北・道東の地域医療に貢献する。

令和 年 月 日

保護者等 住所 _____

氏名（自筆） _____ (印)

【留意事項】

- (1) 旭川医科大学が指定する病院は原則として旭川医科大学病院とし、医師臨床研修マッチング協議会のマッチング後、研修指定病院から発行される通知書の写を大学に提出するものとします。
- (2) 初期臨床研修は旭川医科大学病院卒後臨床研修プログラムを受けるものとします。
- (3) 医学・医療従事期間中に、国内外の医療施設（大学、研究所を含む）に出向・派遣、留学または大学院への進学等を希望する場合、学長の了承するものについては、所属長の責任の下、医学・医療従事期間に含めることができるものとします。
- (4) 医学・医療従事期間中は、毎年5月に勤務先について学長へ報告するものとします。

お問合せ先

旭川医科大学事務局入試課入学試験係
〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
TEL : 0166-68-2214 (直通) (平日9:00~17:00)
<https://www.asahikawa-med.ac.jp/admission/>

